

民衆の
声
ボイス

No.103

VOICEよこはま

公明党 横浜市会ニュース

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL.671-3023 FAX.681-2060

公明党市議団の要望が実現へ！

「横浜市中期計画2022～2025」を策定

「子育てしたいまち・次世代を共に育むまちヨコハマ」を基本戦略とした4年間の計画である「横浜市中期計画2022～2025」が基本計画特別委員会で審査され、可決成立しました。公明党横浜市議団が要望してきた数々の政策が、大きく市の中期計画に反映されました。

小児医療費を完全無償化 中3まで所得制限撤廃

《小児医療費助成の拡充へ 公明党市議団の歩み》

- 1992年 横浜会で初めて無料化を提唱
- 1995年 0歳児の通院・入院が無料化
- 2007年 就学前児童まで対象を拡大
- 2012～17年 小1→小6まで対象を拡大
- 2019年 中3まで対象を拡大
- 2021年 1,2歳児の所得制限を撤廃

令和5年度予算案に反映



本年8月から中学3年生までを対象に所得制限および一部負担金を撤廃し、完全無償化となります。

全ての生徒へ栄養バランスの整った給食を提供

中学校給食の更なる拡充へ



令和5年度予算案に反映

“ふた”をあけるワクワクの毎日。

- 全員給食に向けて、設計50校、工事25校について配膳室の整備を行う。
- 喫食率アップの取り組みを強化する。



望月やすひろ通信 市政報告 Vol.59



横浜市議員(港北区選出)
もちつき
望月やすひろ

語れる実績

文化芸術編 区民文化センター

3月18日に開業の相鉄東急直通線。それから約1年かけて新綱島駅周辺のまちづくりが行われます。中でも、区民待望の文化芸術活動拠点である港北区区民文化センターが来年3月に開館予定です。

「区民文化センターを新駅周辺に提案」



平成22年決算審査の中で、新駅に伴うまちづくりの公益的施設として、区民文化センターの設置を提案してきました。

■ミズキーホール

愛称も「ミズキーホール」に決定しました。401席のホール、2つのギャラリー、防音性のある練習室3室や音楽ルーム、楽屋4室、ホワイエやカフェスペースも完備します。音楽や演劇、ダンスなど多様な演目に対応が可能です。ギャラリーでは絵画や写真書道などの展示が可能です。



令和4年第4回定例会より

12月6日、公明党を代表して議案関連質疑を行いました。

光熱水費・食材費に対する支援を子ども食堂など、子どもの居場所の光熱水費・食材費の高騰に対する支援金があることを周知・広報すべきとの質問に対し、市長は「市ホームページや広報よこ



こども食堂はまなどに掲載するとともに、社会福祉協議会や区役所を通じて、積極的な周知に努める」と答弁しました。

「特別市」の実現に向けて

市民の理解を促進する一層の取り組みが必要との質問に対し、市長は「私自ら地域の声を聴く機会を設けるとともに、特別市の意義を広く発信するシンポジウムを開催するなど、一層の機運醸成に取り組んでいく」と答弁しました。

特別市になると…

特別市になると原則、市内の地方事務の全てを市が担うこととなります。市と県の二重行政が解消され、さらなる権限・税財源が委譲されることにより、きめ細かな行政サービスが提供されます。



望月 やすひろ
LINE 公式アカウント
はじめました!



登録方法



①カメラを起動、QRコードを読み取り、表示されたメッセージ・リンクをタップします。



②「追加」をタップしてください。これで登録が完了します。

※QRコードが読み取れない場合▶@502urav で検索を

公明党の主張が令和5年度予算案に大きく反映しました!

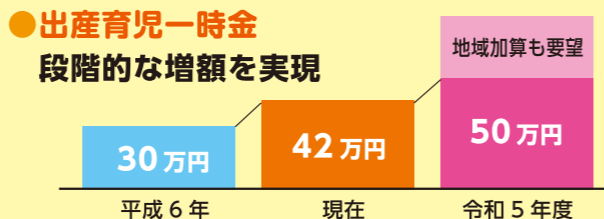
1.子育てに安心を

出産子育て応援金

- 出産・子育て応援金
妊娠・出産時にそれぞれ**5万円**(合計10万円)支給
※令和5年2月1日、実施開始!

- 子育て世代包括支援センターの機能強化
- 伴走型相談支援の充実
- 一時保育、病児・病後児保育の充実
- 医療的ケア児等の受け入れ環境整備
- 放課後の居場所づくりの充実・子育て住まいサポート
- ひとり親家庭等自立支援(子ども食堂、フードバンク)

出産育児一時金



2.暮らしの安心へ

認知症支援事業

認知症疾患医療センターの充実、若年性認知症支援、スローショッピングの普及・啓発



- 帯状疱疹ワクチンの定期接種化に向けた調査
- 各種がん検診の受診率向上に向けた取組
- 新たな介護人材の確保、定着支援
- お悔やみ窓口の設置検討
- ヤングケアラー支援の充実
- ひきこもりなど困難を抱える若者支援(SNS相談窓口)

地域防犯カメラの設置を大幅増加

100台から
150台に



3.災害への備えを

学校体育館へのエアコン設置を加速

令和元年~4年度まで
エアコン・大型冷風機を89校に設置

令和5年度は
エアコン28校、大型冷風機は希望校へ!

- 避難行動計画「マイ・タイムライン」の周知・作成支援
- 木造住宅・マンションの耐震化支援
- 雨水幹線の整備、がけ地の安全対策

防災アプリの本格運用



4.地域交通の充実へ

地域の総合的な移動サービスを検討



敬老特別乗車証(敬老パス)の維持



- バス路線の維持
- 新たな移動サービスの検討
- 地域交通サポート

5.教育環境の充実へ

教育の充実



学校のエレベーター設置

- 不登校児童生徒への支援拡充
- 計画的な学校建替え



政務活動最前線

AI活用による交通調査

1月31日、市議団は、AI解析による交通調査を視察しました。

この調査は、交差点の混雑状況を動画で撮影後、AIによる映像解析を行うことで、課題を可視化(数値化)し交差点の安全確保の取組に繋がります。



戸塚駅西口駅前での調査現場を視察する市議団(福島・久保・中島議員)

ウクライナ避難民のサッカー選手を支援

2月3日、市議団は、横浜市に避難してきたウクライナ避難民のサッカー選手・ヤリクさんと面会しました。

ヤリクさんは市議団の橋渡しにより、市内で活動するフットサルチーム「横浜FC」の下部組織「アカデミー」に在籍することができ、練習に励んでいます。



市議団(福島・仁田・中島議員)と談笑するヤリクさん